

2025年度 早稲田大学

こども家庭ソーシャルワーカー指定研修

【（福井）一陽会場 実施要項】

本研修は、こども家庭ソーシャルワーカー認定資格の取得に必要な研修として、一般財団法人 日本ソーシャルワークセンターから、下記のとおり、研修種別指定研修の認定を受けています。

【（福井）一陽会場】 こども家庭ソーシャルワーカー指定研修 【研修認定番号：2025-1-11】

受講要件の確認や、申込方法については、こども家庭ソーシャルワーカー認定資格特設サイト (<https://kodomo.jswc.or.jp/examinee/training>) の「**研修について**」のページや、「**★こども家庭ソーシャルワーカー資格ガイド（資格概要～受講申込）**」をご確認ください。

◆受講対象者

令和5年11月14日付内閣府令第72号「児童福祉法等の一部を改正する法律の施行に伴うこども家庭庁関係内閣府令等の整備等に関する内閣府令」第5条の2の8に該当する者が受講対象です。

（福井）一陽会場の指定研修は、研修受講を申し込む時点で、日本ソーシャルワークセンターの受講要件確認の結果**CFSW研修受講番号【第1号】（CFSW202X01XXXXX）**または、**【第2号】（CFSW202X02XXXXX）**を取得済みである方が受講対象者です。

① 社会福祉士・精神保健福祉士有資格者ルート（第1号）

社会福祉士又は精神保健福祉士の資格取得後、指定施設において2年以上主として児童の福祉に係る相談援助業務に従事した者

② 社会福祉士・精神保健福祉士有資格者ルート（第2号）

社会福祉士又は精神保健福祉士の資格取得後、指定施設において2年以上児童の福祉に係る相談援助業務を含む相談援助業務に従事した者

受講要件の詳細につきましては、こども家庭ソーシャルワーカー認定資格特設サイト内【研修の受講要件】「**★こども家庭ソーシャルワーカー資格ガイド（資格概要～受講申込）**」をご確認ください。

◆（第2号）の場合の留意事項

早稲田大学・一陽・麦の子会は、指定研修のみの実施です。追加研修の実施予定はありません。

※第2号ルートの方は、他の研修実施機関で「追加研修」を受講しなければ試験の受験資格が得られませんのでご注意ください。

◆会場・定員

【福井県】社会的養育総合支援センター 一陽 会場 20名

福井県越前市常久町7-3-1 社会的養育総合支援センター 一陽『地域支援センター 一陽』

◆指定研修受講費

こども家庭ソーシャルワーカー＜指定研修＞受講料 220,000円(税込)

受講料の納入先銀行口座情報は、受講決定後にmanaable上でお知らせいたします。

◆使用教材

- 各講義・演習では、原則としてテキストは指定しません。
- 講師が作成した資料をマナブル上からダウンロードしていただく場合があります。
- 必要に応じて、日本ソーシャルワーク教育学校連盟『こども家庭ソーシャルワーカー（仮）の施行に向けた具体的運用に関する調査研究』報告書の該当科目部分を読んでおくことを推奨します。

<http://jaswe.jp/research.html>

別冊第1巻（こども家庭福祉）、別冊第2巻（関連知識）、別冊第3巻（こども家庭福祉とソーシャルワーク）

◆受講要件確認期間・申込期間

2025 年 7 月 1 日（火）午前 10 時 00 分 ～ 7 月 18 日（金）午後 5 時 00 分迄

※【○○会場】別の申し込みとなりますので、対面演習の受講会場をよく確認のうえ、お申し込みください。

【（福井）一陽会場】 社会的養育総合支援センター 一陽_指定研修申込

→日本ソーシャルワークセンターから第1号ルート・第2号ルートの受講要件を満たした審査結果が出た方のみ申し込み可

※受講要件確認審査を経て受講要件を満たした場合でも、**先着順**の申し込みとなるため、

7月18日（金）前に受付終了となり、（福井）一陽会場で受講申し込みができない場合があります。

※（福井）一陽会場で受講できない場合でも、受講要件確認審査結果（CFSW研修受講番号）は有効であるため、受講要件確認審査料の2万円は返金されません。

◆受講申込方法

- **こども家庭ソーシャルワーカー認定資格特設サイト** (<https://kodomo.jswc.or.jp/examinee/training>) の「**研修受講の流れ**」をよく読み、【**研修管理システム（マナブル）**】から、受講要件確認審査を受けて、第1号ルートの受講要件を満たした受講要件確認審査結果（CFSW研修受講番号）を取得してください。
- **研修管理システム（マナブル）** の操作方法について、研修実施機関では個別の問い合わせには対応しておりませんので、こども家庭ソーシャルワーカー認定資格特設サイト内 (<https://kodomo.jswc.or.jp/examinee/training>) の【**マナブルヘルプページ**】をご参照ください。
- 入力事項に間違いや入力漏れがないことを確認してください。間違いや入力漏れがある場合は、受講申し込み手続きが完了せず、指定研修を受講することができません。

◆受講者の決定

- お申込者多数の場合は、申込内容に不備がなく、申込手続きが完了した申込から**先着順**で受講者を決定させていただきます。選考や抽選はありません。
- 上記に基づき受講者を決定するため、手続きを進めていても、受講のご希望に添えない場合があります。

◆キャンセル・返金について

- 受講決定後のキャンセルはお受けできません。収納した受講費の返金はありません。
- 受講要件を満たしている場合でも定員を満たした場合は、指定研修に申し込みすることができません。

◆修了の条件

- 本研修は、こども家庭ソーシャルワーカー資格取得のための試験受験資格を満たすための指定研修です。研修の**全科目・全日程の受講が修了認定の要件**となります。欠席の補講はありません。欠席の場合は、翌年度に未受講科目を受講していただきます。
- 講義・演習において、遅刻・途中退席・早退などがある場合、修了証を発行できません。

◆請求書・領収書の発行

- 請求書・領収書ともにmanaableからダウンロードしていただきます。郵送は対応しておりません。
※宛名の変更は対応しておりませんので、請求書・領収書に記載する名称をmanaable上に登録してください。
- 請求書・領収書の発行において、早稲田大学・一陽・麦の子会で共同実施しておりますので、会計を担当する「麦の子会」名義での発行となりますことご承知おきください。

オンデマンド講義講師一覧

※演習の講師は、一部変更や追加となる場合があります。

指定科目名	講義講師
01:こどもの権利擁護	長瀬正子（佛教大学）
02:こども家庭福祉分野のソーシャルワーク専門職の役割	徳永祥子（立命館大学・早稲田大学） ＜安發明子（在パリソーシャルワーカー養成校AFRIS顧問）＞
03:こども家庭福祉Ⅰ （こども家庭をとりまく環境と支援）	姜 恩和（目白大学）
04:こども家庭福祉Ⅱ （保護者や家族の理解）	高林 学（龍谷大学） 遠藤朋子（徳島県中央こども女性相談センター） 三木 馨（西日本こども研修センターあかし）
05:こども家庭福祉Ⅲ （精神保健の課題と支援）	加藤 雅江（杏林大学）
06:こども家庭福祉Ⅳ （行政の役割と法制度）	鈴木秀洋（日本大学）
07:こどもの身体的発達等、母子保健と小児医療の基礎	上野昌江（四天王寺大学） 三木崇弘（高岡病院 医師） ＜有村大士（日本社会事業大学）＞
08:こどもの心理的発達と心理的支援	増沢 高（子どもの虹情報研修センター）
09:児童虐待の理解	岩佐嘉彦（いぶき法律事務所 弁護士） ＜杉山 春（ルポライター）＞
10:少年非行	堀井智帆（元福岡県警少年育成指導官）
11:社会的養護と自立支援	上鹿渡和宏（早稲田大学） 永野 咲（武蔵野大学）
12:貧困に対する支援	李 炯植（Learning for All）
13:保育	宮本雄司（早稲田大学） 澤田佐知子（社会福祉法人あゆみの会） 萩原康子（社会福祉法人あゆみの会）
14:教育	岡安朋子（早稲田大学） 中條桂子（昭和女子大学） 時田綾子（中野区）
15:こども家庭福祉とソーシャルワークⅠ （多様なニーズをもつこどもや家庭へのソーシャルワーク）	畠山由佳子（神戸女子短期大学） 藤林武史（西日本こども研修センターあかし）
16:こども家庭福祉とソーシャルワークⅡ （こどもの安全確保を目的とした緊急的な対応に関するソーシャルワーク）	久保樹里（日本福祉大学） 渡邊 直（千葉県中央児童相談所）
17:こども家庭福祉とソーシャルワークⅢ （地域を基盤とした多職種・多機関連携による包括的支援体制の構築）	橋本達昌（児童家庭支援センター 一陽） 八木安理子（同志社大学）
18:こども家庭福祉とソーシャルワークⅣ （組織の運営管理）	中垣真通（子どもの虹情報研修センター） 市原眞記（静岡県中央児童相談所）

※所属は2024年度当時の所属名です。

＜ ＞：ゲストスピーカー

オンデマンド講義配信期間、オンラインライブ演習・対面演習開催日程

B:【福井県】社会的養育総合支援センター 一陽 会場

オンデマンド講義 8月18日(月)～12月31日(水)

※各科目、オンラインライブ演習、対面演習受講前に視聴すること。

オンラインライブ演習(リアルタイム)【Zoom】	参集型の対面演習(6日間)【会場】
	※同時進行している早稲田大学会場の講師の指導を参考にしながら、現地会場の講師が対面演習を行います。 9/10(水) 10:30-17:30 「こども家庭福祉分野のSW専門職の役割」 霜 大輝 (一陽) 9/11(木) 9:00-17:30 「こども家庭福祉とSWⅢ(地域を基盤とした多職種・多機関連携による包括的支援体制の構築)」 佐々木美樹・亀間妙子 (一陽) 9/12(金) 9:00-17:30 「こども家庭福祉とSWⅠ(多様なニーズをもつこどもや家庭へのソーシャルワーク)」 砂山真喜子 (金沢学院短期大学) 9/13(土) 9:00-17:30 「こども家庭福祉とSWⅡ(こどもの安全確保を目的とした緊急的な対応に関するソーシャルワーク)」 川並 利治 (金沢星稷大学) 9/14(日) 9:00-17:30 「こどもの権利擁護」 前之園 ゆりか (一陽) 9/15(月・祝) 9:00-12:00 「こども家庭福祉Ⅱ(保護者や家族の理解)」 霜 大輝 (一陽) 13:00-17:30 「社会的養護と自立支援」 霜 大輝 (一陽)
※Zoom演習は、3会場合同で実施 9/28(日) 13:00-14:30 「保育」 15:00-16:30 「教育」 10/19(日) 13:00-14:30「こどもの身体的発達等、母子保健と小児医療の基礎」 15:00-16:30「こども家庭福祉Ⅰ(こども家庭をとりまく環境と支援)」 11/9(日) 10:30-12:00 「貧困に対する支援」 13:00-16:00 「こども家庭福祉Ⅲ(精神保健の課題と支援)」 17:00-18:30 「こどもの心理的発達と心理的支援」 11/30(日) 10:30-12:00 「こども家庭福祉Ⅳ(行政の役割と法制度)」 13:00-17:30 「こども家庭福祉とソーシャルワークⅣ(組織の運営管理)」 12/14(日) 10:30-12:00 「少年非行」 13:00-17:30 「児童虐待の理解」	